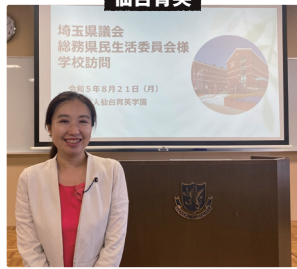




視察報告

総務県民生活委員会では、8月20日、21日で東北地方を訪れ、私学振興の調査研究目的で宮城県にある「仙台育英学園」、文化を通して県民のコミュニティづくりの拠点施設を運営している山形県東根市の「まなびあテラス」を視察しました。多くのボランティアが施設運営に関わり、地域を盛り立てていく工夫は人口減少時代における一つの答えです。

仙台育英



自主性を重んじる点が
野球の強さの秘訣でもあるようです

まなびあテラス



小中高校生ボランティアは
職業体験にもなります

また、9月11日、12日には、公社事業対策特別委員会で公民連携プロジェクトの先進事例を学びに岩手県「盛

ZOOMO



展示の仕方にはストーリーと
メッセージがあります

オガール



町有地を賃して
事業者から賃料を

岡市動物園 ZOOMO」、紫波郡のまちづくり「オガール」を訪れました。

公民連携プロジェクトとは、公共施設を民間の資金・技術・経営能力を入れて設計、建設、維持管理する事業のことで、低コストで質の高い行政サービスが提供できるようになることがメリットです。

現在、埼玉県でも上尾運動公園に整備が進められているスポーツ科学拠点施設、川口市神根公園につくられる屋内50M水泳場は、民間の力を活用する公民連携事業（PFI方式）です。多様な主体との連携でより良い施設となるようしっかり注視していきます。

第1回

県政報告会

10月1日、初めての県政報告会を埼玉会館で行いました。2期目を迎えた大野県政の目指すところ、東北視察、9月定例会の注目トピックなどについて報告しました。

「県の広報官で終わるな」など、貴重なアドバイスを頂戴しました。次回に繋げていきます。



来年度予算要望も知事に提出



会派として大野知事へ162項目にわたる来年度の予算要望書を提出しました。

また、夏から秋にかけて、医師会や弁護士会、税理士、司法書士の各政治連盟、商工会連合会など多分野、多岐にわたる49団体から来年度予算に対する要望を伺っており、会派要望、市町村からの要望と共に知事に提出しました。物価高騰、人手不足で経営を維持することも困難な業界もあり、直接伺った声を知事に伝え、危機感の共有を図りました。

